

# 竹田 i P グループのサステナビリティ

## サステナビリティ方針

2023年4月に、持株会社化に伴い新たに策定した当社グループにおけるサステナビリティの方針は、「経営の基本方針」である社是、「当社が存在する意義」である基本理念、「信頼される企業であり続けるために」との想いで定めた行動規範を実践することであると考えます。

### 社是（経営の基本方針）

熱意・和合・奉仕

### 基本理念（当社が存在する意義）

**Mission**：溢れるほどの情熱をもって、革新しつづける。

**Vision**：社会から信頼され、必要とされる存在に。

**Value**：1. 竹田 i P グループの総合力  
2. 心ある誠実な企業風土  
3. 相手に寄り添うサービス

**Spirit**：1. あらゆる可能性に挑戦せよ。  
2. いかなる時も思い遣りを持って。  
3. 粘り強く進め。  
4. 社会的課題を解決すべく学べ。  
5. 約束と法律を遵守せよ。

**Slogan**：情熱と革新の未来へ。

### 行動規範（信頼される企業であり続けるために）

コンプライアンスの実現のために：責任ある行動をしよう

顧客満足の実現のために：お客様に感謝しよう

働きがいのある企業風土づくりのために：仲良く朗らかに元気づけよう

グループの総合力発揮とさらなる発展のために：社連発展のためお互に協力しよう

よき企業市民となるために：よき家庭の一員となるよう

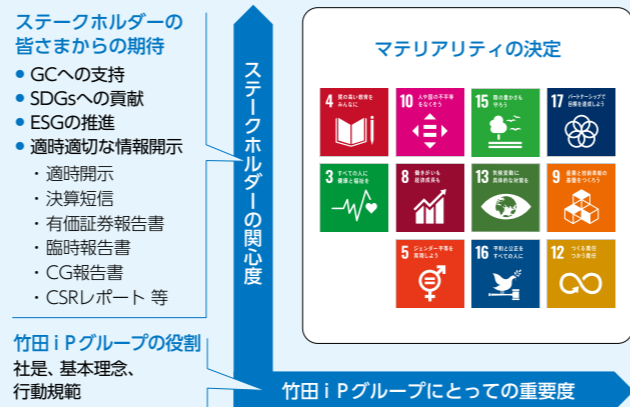
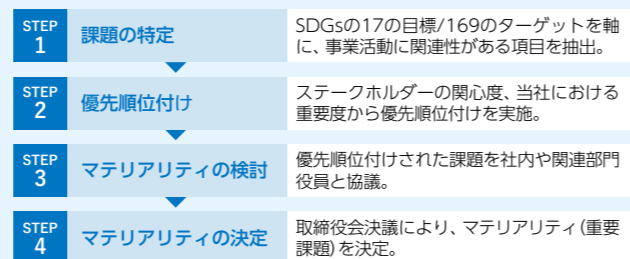
## 竹田 i P グループフィロソフィー（持続可能な社会の実現）

全員が共有して持つべき意識・価値観・考え方



## マテリアリティ（重要課題）

私たちは、「社是」「基本理念」「行動規範」に従い、当社の成長を通じて持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。そのため、2019年4月に国連グローバル・コンパクトに署名し、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンへ加入しました。国連グローバル・コンパクトが掲げる4分野10原則を支持し実行するため、SDGsで示されている社会的課題の解決や、ESG（環境・社会・ガバナンス）領域に率先して取り組み、全てのステークホルダーの皆様からの期待に積極的に対応していきます。当社グループの取り組みをより活性化させるために、このたび11個のマテリアリティ（重要課題）を決定しました。



そして、11個のマテリアリティ（重要課題）の関連性を「事業活動を通じた社会的課題の解決」と「社会的課題を解決に導く経営基盤の強化」に整理しました。



## マテリアリティ（重要課題）に対する取り組み

マテリアリティ（重要課題）に積極的に取り組むため、今後は事業戦略と連動した目標（施策・KPI）の具体化を竹田マネジメントシステムを通じて、進めてまいります。

項目	マテリアリティ（重要課題）	ESG	7つの中核課題 (ISO26000)	責任者	主な取り組み
事業活動を通じた社会的課題の解決	13 気候変動 15 陸域生態系保護	E	環境	竹田 i P グループ 事業会社役員	紙媒体とデジタル媒体の融合を推進 カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み ● ISO14001およびFSC森林認証の運用、管理 ● エシカルペーパーの提案 ● 環境に配慮した印刷手法 ● 限りある資源の有効活用 ● 原材料、省エネルギー、大気への排出、排水および廃棄物などの管理
	9 産業・中小企業振興 12 持続可能な消費 17 パートナーシップ	S	消費者課題		お客様満足度No.1企業に向けた取り組み お客様の課題解決を促進 お客様のコミュニケーション支援および販売支援 紙媒体とデジタル媒体の融合を推進 ● ワンストップソリューションの強化 ● お客様の置かれている状況とビジネスモデルを深く理解する ● お客様との協業による社会的課題の解決 ● 低コスト生産体制の構築 ● 半導体関連マスク事業の強化 ● 新事業の開発 ● ISO9001およびISO27001の運用、管理
社会的課題を解決に導く経営基盤の強化	3 気候変動 4 労働時間 5 性別平等 8 働きがい 10 労働時間 16 労働時間 17 パートナーシップ	S	公正な事業慣行	竹田 i P グループ 事業会社役員	サプライヤーの皆様と対等で公正な取引実施 良好なパートナーシップの構築 ● 技術、情報の相互交流などによる信頼関係の構築 ● 改善策の推進による共存共栄
			労働慣行		多様な人材の活用推進 労働安全 健康経営 ● 様々な教育制度により社員の能力向上やキャリアアップを推進 ● 福利厚生等の諸制度による社員や家族の生活をサポート ● 労働災害発生防止の徹底
			人権		ダイバーシティとワーク・ライフ・バランスの推進 ● 女性活躍のための制度の充実と社員の意識改革 ● 実労働時間の短縮 ● 生産性を高め場所や時間に縛られない柔軟な働き方 ● 仕事とプライベートの両立と質的向上の確立などの働き方改革を推進
			コミュニティ		地域社会との信頼関係の構築 ● 安心安全な地域社会づくりのための地道な地域貢献活動の継続的実施
		G	組織統治	竹田 i P ホールディングス 経営統括本部長	透明性のある企業としてコーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底 ● 経営の透明性と健全性の確保、迅速な意思決定と適切な事業遂行 ● 法令順守と倫理の確保などに向けて組織管理体制の確保 ● コーポレートガバナンス・コードへの対応 ● ISO27001およびPマークの運用、管理
					株主、投資家の皆様への対応 ● 適時適切な情報開示の実施 ● 株主、投資家の皆様との対話

## サステナビリティ推進室設立の経緯と今後の展開

サステナビリティ推進室は、今期新設された新しいセクションとなります。サステナビリティ推進室が新設された背景には3つの要素があります。

1つ目は、サステナビリティに対する関心の高まりがあります。世界的な気候変動や自然災害、環境汚染など環境の悪化は事業活動を阻害するものとなります。持続可能な社会を実現するために、事業活動と環境保全の両立を図る事が求められています。

2つ目は、サステナビリティを実行する上での指標として、国際的な合意により「持続可能な開発のためのアジェンダ2030」が採択され、新たな課題である「誰一人取り残さない」世界の実現をめざす、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成が国際的に推進されています。

3つ目は、投資家の皆様の注目です。環境・社会・ガバナンスの観点から投資家様が企業を評価し、ESGに配慮した取り組みを進める事が企業自らの競争力を高めると評価され、投資が行われる傾向が強まっています。

従来より、企業はその事業活動において環境の保護や法律・法令の順守など、環境や社会に対する責任を果たすことが求められてきました。当社においても、これまでのCSRレポートでもご報告させて頂いておりましたようにCSR活動を推進して参りましたが、その必要性はさらに高まり、事業を通じて持続的な社会の発展に貢献することが必要になっています。

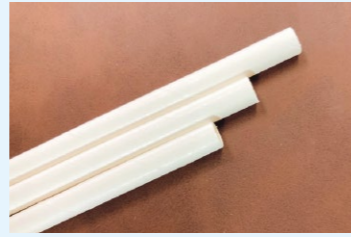
サステナビリティ推進室は、当社グループの事業活動を通じて社会と地域の発展に貢献し、お客様と社員、そのご家族の皆様のご幸せをめざして参ります。

## SDGsへの取り組み

### 再生可能な素材への切り替え

#### 紙製ストローで脱プラスチック

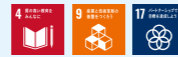
竹田印刷は、環境負荷低減を実践するため、紙製のストロー「タケダストロー」を開発して商品化しました。中国で包装資材の企画・製造・販売を行う上海竹田包装印務技術有限公司が製造にあたり、衛生管理には半導体関連マスク事業のクリーンルームで培ったノウハウが活かされています。品質についても3つの検査機関での検査によって保証されています。



### ICT(情報通信技術)機器を通じた業務の軽減化

#### 知育教材アプリによる介護支援

コミュニケーションロボット「ロボホン」を活用した、高齢者福祉施設向け介護レクリエーションアプリ「ロボシルバーク」を開発。2021年に販売を開始した知育教材アプリ「ロボキッズパーク」の知見や利用者様のご意見を反映し、QOLの補助、高齢者福祉施設職員の方の負担軽減をめざして開発・商品化されました。



### フードロス削減と飢餓ゼロをめざして

#### 企業向け防災備蓄品のリユースサービス

世界中で7億人以上が貧困に苦しむ一方で、日本の食品ロスは年間600万トン以上となっています。竹田印刷は公益社団法人 日本非常食推進機構と協業して、企業の防災備蓄品のうち消費期限が近づいた物を回収し、食料を必要とする人につなぐリユースサービスを展開。フードロス削減と社会福祉に寄与しています。



### 環境配慮型のパッケージの普及

#### プラスチック使用量を削減

日栄印刷紙工では、熱をかけると縮む性質をもつ「シュリンクフィルム」を台紙に貼付けた「シュリンクフィルム貼付台紙」をご提案しています。従来のプリスターパック(透明なパッケージ)よりも、プラスチック使用量を削減することができ、環境配慮型のエコなパッケージとなります。小ロット・多品種に対応したシュリンクフィルム貼付装置を自社設備として導入しており、除菌スプレーのパッケージ等に採用されました。



## SDGs Topics 地域社会とともに ~竹田印刷(株)の取り組み~

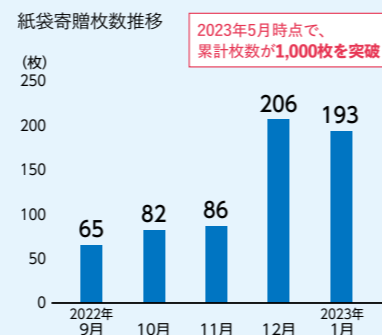
### ▶ 社会貢献活動

#### 名古屋市図書館へ使用済み紙袋の寄贈を開始

2022年9月より、竹田印刷 本社内で集めた使用済み紙袋を名古屋市図書館へ寄贈する取り組みを開始しました。名古屋市図書館では、本や紙芝居を貸出する際に紙袋を再利用する取り組みを実施していましたが、利用頻度の割に供給が追いついていないという背景があり、本取り組みの実施に至りました。これまでの紙袋寄贈数は、9月の65枚から12月には206枚を記録し、社員の「再利用」に対する意識向上にも繋がっています。



社内に設置した紙袋回収箱



### ▶ 多様性の尊重

#### “LGBTQ理解促進”のための研修を実施

すべての社員が、自分らしさを大切にしながら安心して働き続けられるだけでなく、多様な価値観を尊重しあい、個々の能力を活かすことができる働きがいのある職場環境の実現に向け、LGBTQの理解促進を進めています。その第一歩として、管理者向けに研修を実施し、LGBTQの基礎知識から管理職として気を付けるべきことまで、幅広い内容の講義を実施しました。今後も、多様性を尊重する職場風土の醸成に取り組んでまいります。



### ▶ 障がい者アートの活用

障がいのある方の芸術・文化活動の応援を通じてダイバーシティ&インクルージョンを推進しています。

#### 「Innovation Print Awards 2023」にて、ダイレクトメール部門第1位を獲得

2022年12月、富士フィルムビジネスイノベーション株式会社が主催する当コンテストにて、竹田印刷が応募した「SDGs貢献製品 デザインを活かして誰もが活躍する社会を一障がい者アートの活用」がダイレクトメール部門で第1位を獲得しました。



受賞作品

#### 「第3回SDGs フェスティバル in 名古屋丸の内」において、障がい者アート展示に特別協力

2022年11月から2023年1月にかけて、SDGsに関する企業・自治体・大学等の取り組みを紹介する当イベント(主催:東京海上日動火災保険株式会社)にて“アール・ブリュット\*絵画展”が開催され、障がい者アートを提供しました。12月には同イベント内で「SDGsまつり」が開催され、展示ブースのスタンプラリー用景品として、障がい者アートを活用したオリジナルの缶マグネットやトランプを制作・納品しました。

\*アール・ブリュット:加工されていない生(き)の芸術。障がい者アートとも呼ばれます。



アール・ブリュット\*絵画展

#### 世界自閉症啓発デーに協賛

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」とされ、名古屋市でも自閉症をはじめとする発達障害についての啓発活動が行われています。障がいのある方と社会との接点づくりが課題となる中、福祉事業所と地元企業が地域一体となって活動を進めていくことが課題解決の第一歩と考え、企業や施設、学校などと協力しながら、障がい者アートを活用したチラシやポスターの作成、缶バッジ(マグネット)配布などの支援を行いました。



障がい者アートを活用した缶バッジのデザイン

### ▶ 活動内容の普及

#### 名古屋市の中学生へ当社の取り組みを紹介

2023年1月、持続可能な未来を切り開いていくことを目的に、名古屋市の中学生に対し、企業として取り組んでいるSDGsの活動を紹介しました。障がい者アート展示における特別協力を実施した「第3回SDGs フェスティバル in 名古屋丸の内」にて、竹紙で製作された作品の紹介や、バナナペーパー等のエシカルペーパーの紹介、アール・ブリュット活動に関する説明等を行いました。

